一般財団法人 家電製品協会
Association for Electric Home Appliances

2020 年5月 11 日

月刊 AEHA通信　2020 年5月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

◇主な委員会活動等 ： 製品安全委員会等
◇協会インフォメーション ： 今後の行事予定等
◇定点観測データ ： 家電リサイクル法対象4品目引取実績等
◇溜池ボイス ： #StayHome-Work@Home

■□■主な委員会活動等■□■

＜消費者部関連＞

◆製品安全委員会

本委員会は、製品ライフサイクル全般にわたる製品安全確保の取り組み、個社では解決の難しい共通課題についての調査・研究、並びに施策の実施を目的として活動を行っています。

○第３回「100V コンセント付き電気自動車からの電源供給に於ける課題検討会」（Web 会議＆書面審議）

1. 自動車工業会との意見交換会の内容確認について
2. 2019 年度検討会の纏めについて
3. 今後の課題と対応について

◆第１回ＵＤ技術委員会（４月 20 日 Web 会議）

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

1. 2019 年度の活動結果確認と 2020 年度活動計画について
2. 家製協ガイド「ICT 機器連携に関するアクセシビリテイ配慮事項」の作成について
3. JIS S0013「高齢者・障害者配慮設計指針−消費生活製品の報知音」の改訂について
4. 外部委員会について
   2019 年度 AD 国際標準化委員会活動において、家電製品協会作成ガイドラインをベースとした、下記2つの規格が ISO として制定された
   - ・ISO/DIS 24550（JIS 未制定: 消費生活用製品の報知光）
   - ・ISO/DIS 24551（JIS S 0015:消費生活用製品の音声案内）

◆消費者啓発委員会

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深めることで、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

○UD配慮家電製品 HP 改善 WG（メール審議）

1. UD 配慮製品事例紹介ページ掲載方法について
2. ４月リニューアル公開に向けた新 HP プレビューと内容確認について
3. 運用ガイドラインの更新について

○家製協製品安全ページリニューアルについて（メール審議）

プレビュー版に対して下記の確認依頼を行いました。

1．５月リニューアル公開に向けた全体構成について
2．製品別の注意事項に関する各工業会へのリンクについて
3．災害時の注意事項に関する追加内容について

ユニバーサルデザイン配慮家電製品
ユニバーサルデザインとは
ユニバーサルデザインへの取り組み
ユニバーサルデザインに配慮した家電製品
このサイトについて
使いやすく より多くの人に やさしい
家電製品の普及に取り組んでいます
ユニバーサルデザイン配慮家電製品情報
ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた
使いやすくてやさしい家電製品の情報を紹介しています。

＜技術部関連＞

◆第１回 省エネルギー対策委員会（４月 24 日・メール審議）

2020 年度第１回の省エネルギー対策委員会をメール審議により開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1．前回議事メモ案の確認
2．2019 年度事業実績の確認
3．2020 年度委員長・副委員長の選出
4．総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
5．関連 WG（啓発 WG、おすすめ BOOK 編集会議）の活動報告

○第１回･省エネ家電温暖化防止啓発ＷＧ（４月 13 日・メール審議）

2020 年度第１回の省エネ家電温暖化防止啓発ＷＧをメール審議により開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1．前回議事メモ案の確認
2．2020 年３月度アクセス状況および年度累計実績の確認
3．2019 年度事業実績の確認
4．2020 年度ＷＧ主査・副主査の選出
5．2020 年度活動方針の審議

＜管理部＞

◆2020 年版「家電産業ハンドブック」第１回委員会（書面審議）

2020 年版「家電産業ハンドブック」の第１回専門委員会は、新型コロナ感染症防止対策の為、通常形式での会議開催を取りやめ、全ての審議内容を書面にて審議し、４月 10 日付にて全委員一致で合意を受け付けました。

審議内容は以下のとおりです。

1．提案事項：
①議案１．　2019 年度第７回編集専門委員会議事録の確認
②議案２．　2020 年度家電産業ハンドブック編集方針
③議案３．　2020 年版品目掲載の検討
④議案４．　2020 年版データ編見直しの検討
⑤議案５．　2020 年版作成分担の確認

２．報告事項：
①報告１．　2020 年委員会名簿
②報告２．　2020 年度委員長、副委員長の選任の確認
③報告３．　2020 年度年間編集スケジュール

特に議案事項3．2020 年版品目掲載の検討では、データの欠如から従来の「デジタルオーディオプレーヤ」の代わり「ステレオヘッドホン」を品目に採択すること全委員一致で議決され、本年版より統計資料編に反映されることとなりました。

＜その他＞

その他の部門で４月に予定していた委員会、会合につきましては、新型コロナ感染症防止対策の為、延期及び中止となりました。

■□■協会インフォメーション■□■

家電製品協会は、この度の「緊急事態宣言」に基づく東京都の自粛要請に基づき、５月 17 日（日）まで協会活動を自粛し、職員は在宅勤務をいたします。その間、皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。

なお、一部停止する業務もございますので、詳しくは関連するホームページを参照願います。

◆今後の行事予定

月　日	時　間	行　事	主な議題等	場　所
6月3日(水)	14:00～15:00	第31回 運営委員会	理事会、評議員会事前説明等	家製協　3･4･5会議室
6月16日(火)	—	理事会(書面決議)	事業報告、決算報告等	
6月26日(金)	–	評議員会(書面決議)	事業報告、決算報告、 評議員・役員選任等	
6月29日(月)	–	理事会(書面決議)	代表理事(理事長等)選定	
7月17日(金)	16:00～17:00	第32回運営委員会	部門別活動報告等	家製協　3･4･5会議室
10月or11月（調整中）	16:00～17:15	第16回 理事会	2019年度事業報告等	ザ･キャピトルホテル東急
	17:30～19:00	第４回 家電産業交流会	新理事長就任挨拶	ザ･キャピトルホテル東急
12月2日(水)	16:00～17:00	第33回運営委員会	部門別活動報告等	家製協　3･4･5会議室

■□■　定点観測データ　■□■

◆家電リサイクル法対象４品目引取実績（４月度）

2020年４月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	169	76%	169	76%
2.テレビ　計	261	110%	261	110%
① ブラウン管式	79	96%	79	96%
② 液晶式・プラズマ式	181	117%	181	117%
3.冷蔵庫・冷凍庫	246	93%	246	93%
4.洗濯機・衣類乾燥機	306	90%	306	90%
合　計	980	92%	980	92%

（うち指定法人）　（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	2	87%	2	87%
2.テレビ　計	18	141%	18	141%
① ブラウン管式	7	124%	7	124%
② 液晶式・プラズマ式	11	154%	11	154%
3.冷蔵庫・冷凍庫	20	84%	20	84%
4.洗濯機・衣類乾燥機	7	90%	7	90%
合　計	46	101%	46	101%

◆家電製品PLセンター相談等受付件数実績（４月）

家電製品PLセンターは、新型コロナウィルス感染拡大防止のため3月27日以降の受付時間の短縮に続き、４月８日以降は、「緊急事態宣言」を踏まえ、業務を休止しています。そのため、４月度の相談等受付件数は、４月７日までの27件に止まり、うち拡大損害事故相談は１件です。現在、当センター職員は、早期の業務再開を願いつつ、在宅勤務をしながら相談対応力の向上に取り組んでいます。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。

詳細は、当センターホームページのインフォメーションを参照願います。
https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/index.html

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2020年２月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。
https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasuii202002.pdf

■□■　溜池ボイス　■□■

## ◆#StayHome-Work@Home

５月、毎年この時期は「ゴールデンウィークは如何でしたか？」が挨拶の定番ですが、今年は多くの方が4月からのテレワークの延長で過ごされたと思います。事実、東京商エリサーチの調査では、資本金1億円以上の企業における在宅勤務実施率が48%に達したと報告されていますが、「仕事は現場」と、若い時から「現場・現物主義」を叩き込まれた我々世代にとって、「家でなんか仕事にならない！」と拒絶反応を示した方が、最近は「在宅勤務、ありかも」と、認識を変えられた方もいらっしゃると思います。少なくとも、毎日往復の電車で費やす空虚な3～4時間を、「仕事」や「家庭」に活かせることは、非常に有意義なことだと思います。

東京都の人口は現在約 1400 万人。人口密度（per ㎢）は約 6400 人で、例えば感染者の少ない鳥取県（人口密度が約 160 人）と比較すれば、40 倍もの過密度になります。また、昼間人口はさらに膨らんで約 1600 万人にもなり、千代田区の例では、常住人口約6万人が昼間は約 85 万人と、とんでもない数値になります。その要因として、他県から都内に通勤・通学する「越境移動民」が約 300 万人、それに都内在住の移動民約 700 万人を合わせると計 1000 万人が毎朝都心に向けて大移動するわけで、その一部でも通勤呪縛から解放することで、一極集中型が大幅に改善されます。

オフィスに常勤しないなら、まず通勤手当が減ります。職場はフリーアドレスとなり、勤務スペースも大幅縮小、固定費の削減ができます。会議もネットでできるので、国内外の交通費も不要。会議後の懇親会も「Online 飲み会」、終電を気にせずに飲めます。企業はコスト削減と時短が実現し、社員は労働負荷の軽減で健康増進、まさに一石二鳥ですね。

西暦では紀元前を「B.C.（Before Christ）」と表します。キリスト教徒にとって歴史の始まりは「イエスの生誕」ですが、最近では世相を反映してこの B.C.の C に、別の言葉をあてるそうです。これはつまり、今回の社会現象が、「集中」から「分散」への「パラダイム・シフト」を起こす「エポックメイキング」な起点を意味するのではないでしょうか。

本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。
記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。
【配信停止方法】
本メールの配信の停止をご希望される方は、会社（団体等）名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を
本メールの返信にてご連絡ください。

AEHA 一般財団法人 家電製品協会
Association for Electric Home Appliances
〒100-0013　東京都千代田区霞が関 3-7-1　霞が関東急ビル 5 階　　代表　tel.03-6741-5600